

(例)産学官連携による地域ブランド製品の開発を通じた地域活性化

地域活性太郎（地域活性大学）

Keyword：地域活性、産学官連携、地域ブランド

【問題・目的・背景】

- (1)冒頭に研究の導入を示す単語を記述すること。「例：問題、課題、背景、目的、はじめに など」。単語は【 】で囲む。フォントはMSゴシック、10pt、左揃え
- (2)本文は、MS明朝10ptで記述。英数字は特に必要が無い限り、半角英数とする。
- (3)ここでの記載内容は、研究の背景となった社会的な課題や問題に関する導入的説明をおこない、本研究としてどのような点を明らかにするのかについて目的等を明らかにすること。
- (4)以下、共通。記述の分量は全体のバランスを考えて設定すること。また、必要に応じて、図表、写真等を挿入してもよい。

【研究方法・研究内容】

- (1)冒頭に研究の具体的な内容や方法論、調査や実践活動などの中身を示す単語を記述する。「例：方法、研究方法、研究内容、調査方法 など」単語は【 】で囲む。フォントはMSゴシック、10pt、左揃え
- (2)本文は、MS明朝10ptで記述。英数字は特に必要が無い限り、半角英数とする。
- (3)ここでの記載内容は、研究目的に対して具体的にどのような調査や実験的検討をおこなったかを記載すること。特に特徴的な調査対象を用いたり、分析法などを用いた場合は、研究の重点として明確に記載しておくこと。

【研究・調査・分析結果】

- (1)冒頭に研究の結果を示すことを表す単語を記述すること。「例：結果、研究結果、調査結果、分析結果、検討結果など」。単語は【 】で囲む。フォントはMSゴシック、10pt、左揃え
- (2)本文は、MS明朝10ptで記述。英数字は特に必要が無い限り、半角英数とする。
- (3)ここでの記載内容は、どのような研究結果が得られたのかについて、先行研究との比較、仮説との整合性などできる限り具体的に記述をおこなうこと。

【考察・今後の展開】

- (1)冒頭に結果に対する解釈や結果に対する理解、今後の展開などを示す単語を記述すること。「例：考察、解釈、今後の展開など」。単語は【 】で囲む。フォントはMSゴシック、10pt、左揃え
- (2)本文は、MS明朝10ptで記述。英数字は特に必要が無い限り、半角英数とする。
- (3)ここでの記載内容は、調査結果や研究結果に対して、なぜそのようなデータや成果が得られたのか、この結果から何が分かるのかについて記述する。また、今回の結果から今後はどのような研究の展開が考えられるのかについて記述すること。

【引用・参考文献】

- ・著者名、発表年、論題、論文名、巻号、ページ
- ・著者名、発表年、論題、図書名、巻号、ページ

コメントの追加 [h1]: ページレイアウトについて

- (1)余白設定は、上下20mm、左右18mm

コメントの追加 [h2]: 論文タイトルについて

- (1)要旨提出時の論題は主題のみとすること。発表予稿原稿においては、副題をつけてもよい。副題をつける場合は、例：「-遊休荒廃農地を使った事例-」のように「-副題-」部分をハイフンで囲むこと。
- (2)フォントはMSゴシック、12pt、左揃え

コメントの追加 [h3]: 発表者氏名について

- (1)氏名(所属)
- (2)フォントはMSゴシック、10.5pt、右揃え

(注1)連名発表の場合は、研究代表者の氏名の筆頭とし、氏名の前に○をつける。連名者の氏名は、「・」でつなぎ人数分併記する

例：○地域活性太郎(地域活性大学)・産学官次郎(産学官連携大学)

コメントの追加 [h4]: Keywordについて

- (1)キーワードとなる単語を3つ挙げる
- (2)フォントはMSゴシック、10.5pt、左揃え

コメントの追加 [h5]: 段組について、ページ上部4段は、1

- 段組、5行目以降は2段組とする。
- 段の幅は左右ともに24文字となるように設定。